

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆国債利払い費、35年度に3倍超の45兆円 財務省が金利上昇時を試算

・財務省は国債の利払い費が2035年度に26年度の3倍超の45.2兆円に増える可能性があるとの試算を公表。長期金利が大きく上昇するケースを想定。リスクを踏まえた財政運営の必要性を訴えた。経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)や27年度の予算編成に向けて、建議(意見書)を取りまとめる。

◆26年度予算の防衛関連費、GDP比1.9% インフラや海保含め集計

・小泉進次郎防衛相は記者会見で7日に成立した2026年度予算のうち防衛関連費が国内総生産(GDP)比で1.9%になったと明かした。総額は10兆6千億円規模になる。防衛省分は9兆円程度に加え、公共インフラ整備や海上保安など安全保障に資する関連費用が1兆6千億円弱に上る。当初予算のGDP比をみると25年度より0.1ポイント上昇した。

◆「熱中症警戒アラート」4月22日から開始 停電・断水も考慮

・環境省は4月22日から2026年度の「熱中症警戒アラート」および「熱中症特別警戒アラート」の運用を開始する。今年から、山頂など極端な数値が出やすい地点を外すなどして基準の正確性を高めたほか、猛暑に加えて停電や断水を伴う災害が発生した場合には、現地の状況を収集した上で必要に応じてアラートを発表する方針へと転換している。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆イラン情勢で外壁塗装店の8割に影響 シンナー不足は95%超

・塗装店紹介サービス「外壁塗装パートナーズ」を運営するソーラーパートナーズがこのほど実施した「イラン情勢が外壁塗装に与える影響」に関する調査結果によると、全国の塗装店196社のうち約8割が事業に影響を受けていることがわかった。特に「希釈剤・洗浄用シンナー」については95%以上が、入手困難や仕入れ遅延を実感していると回答。

◆信越化学、中東緊迫でも塩ビ安定 米シェールガス生かす

・緊迫した中東情勢が続く状況下で信越化学工業の塩化ビニール樹脂事業が安定感を放っている。原油の供給減少で値上げや減産に追い込まれる企業が出るなか、信越化学は半世紀前から米国に投資を続け築き上げた供給網がこの局面で生きる。信越化学は米塩ビ事業に34億ドル(約5400億円)を追加投資すると発表した。

◆建設用のH形鋼、2年ぶり値上がり 採算悪化のメーカーが価格転嫁

・代表的な建設用鋼材のH形鋼の流通価格が約2年ぶりに上昇した。原料高などで採算が悪化した鉄鋼メーカーの値上げが進み、東京市場では今春に入り5%上がった。建設工事の停滞で需要は鈍いものの、中東紛争で世界的にインフレ圧力が強まり、需要家が価格転嫁を受け入れた。

《 注目商品 》

■DAIKEN 収納・建具と同色コーデできるマグネット対応壁材

・豊富な色柄のマグネット対応壁材「スタイルアート マグネットタイプ」を発売。鋼板+MDF基材で、ホワイト系からダーク系、グレイジュ系まで8色柄をラインアップ。マグネットが使用できるため、洗面室や玄関の壁面収納、子ども部屋や書斎のデスクまわりなどに対応。



■パナソニック ハウジングソリューションズ、薄型上貼りリフォーム床材

・1.5mmの薄さによりカッターでの切断が可能で短工期、廃材削減、床暖房・防音直貼り対応などの特性で、市場を牽引してきた同製品のラインナップを拡充。価格を抑えた耐熱仕様の「耐熱コスト優先タイプ」と小型犬の滑り配慮仕様に「滑り配慮非耐熱」を追加。



■シャープ、プラズマクラスター空気清浄機「Purefit」

・さまざまなシーンに“フィット”する「運転音」「サイズ」「空気清浄性能」を兼ね備えたプラズマクラスター空気清浄機「Purefit(ピュアフィット)」シリーズのリビング向け新製品を発売。左右両側から空気を取り入れる「Wフィルター構造」を採用し、広い吸い込み面積を確保。

